

信賴関係による

組合事業円滑化

ACTIVE KUMIAI

山梨物流事業協同組合



組合事務所内

山梨物流事業協同組合（古屋光二理事長）は、平成9年に軽油の共同購買、請負荷物の共同受注及び配送等を行うことを目的に、峡東地区の運送業者13者が集まり設立された。これは、運輸業界がバブル崩壊から現在にかけて継続的に抱えている運送量の減少及び請負単価の下落などの問題点に対応するためである。

現在、組合員は10者に減少したものの貨物運送取扱事業を中心に共同配送並びに共同保管のための倉庫管理や事業用車両に供給する自家用給油所の設置、金融事業、損害保険代理業務等を行っている。また、組合員同士の交流の機会としての親睦旅行や毎月1度の定例理事会を開催している。

共同受注等の経済事業の実施は、協同組合の基本とも言えるが、受注量の減少や配分バランス等の問題で事業が停滞化してしまう例は数多くある。このような中、10数年に渡って安定的な事業を行ってこれた理由について古屋理事長は「全ての組合員が、それぞれの会社の事業と組合事業を同じように大事にしていることが組合員間の信賴関係に繋がっており、それが事業を円滑している最大の要因である。」と語った。また、「同業種の組合である以上、組合員同士は仲間であると同時に競合企業でもあるが、効率的な事業を行うために協同組合を活用するという目的は同じであり、燃料の高騰や運賃低下等の課題が山積みとなっている運送業界においては、組合員が一体となった経済事業をますます進めていくことが必要である。」と今後の抱負についても語った。



組合外観